

教育 DX 支援業務事業者選定委員会 第 2 回における質疑応答概要

A 社

	質問（選定委員）	回答（事業者）
1	セキュリティ対策支援の実施の提案について、いつごろのタイミングで実施するか。 フィードバックの手法はどういったものを想定しているか。	時期については相談したい。 スケジュールでいうと、教職員研修のしばらくあとを提案する。今実施するとおそらく成績良くないが現状が分かる。 分析については、P26にあるように ① 自己点検については小中学校 2、3 校抽出して実施することを提案する。 ② 標的型メール攻撃訓練についても、何分後に開封したか、学校ごとの結果など報告できる。
2	ネットワーク保守延長のデメリットは何か。 また保守延長に向けた検討の支援の内容は何か。	デメリットは入札やプロポなどをしないので公平性がない。価格が高止まりする可能性がある。 支援の内容は例として、「仕様書作成の支援」、「予算要求資料など、庁内向けの資料作成」、「ベンダーの見積り精査」、「ベンダーを含めた協議への同席」などを実施する予定である。
3	契約担当である教育センター職員は常に別タスクを抱えており、教育 DX への専任が不可能である。配置換えも頻繁に発生するため、情報の引継ぎも困難である。 職員への負担軽減への支援、工夫は何か考えられるか。	強みは、仕様書に記載がないからやらない、という姿勢ではなく、職員が思いつかないことや、やった方がよいことは積極的に行う、という姿勢で本案件に臨むことである。
4	提案では学習系と校務系ネットワーク統合が前提となっているが、統合するメリットは何か。また課題、デメリットは何か。	メリットは 2 つある ① 使用する時間帯について、学習系は授業中、校務系は放課後なので、1 本にした方が圧倒的にコスト的に優位。 ② 先生方は端末を切り替えるときに気にすることがない。 デメリットとしては、例えば学校の先生が授業用のデータに成績データを紛れ込ませてしまう、など。ゼロトラストで避けるのが提案である。

5	P23 にペーパーレス化とある。例えば採点支援システムについては、システムを導入することでペーパーレス化に逆行する。ペーパーレス化できないかお考えをいただきたい。	完全ペーパーレスは可能である。デジタルのテストは全国で実施されている。 大半は紙をスキャナで取り込み、プリントアウトして紙で返すが、どこかの過程でデジタル化はできる。 技術的な選択肢は多いので、現場と協議して決める必要がある。
6	P23 に BCP 対応とあるが、災害が起こった場合の復旧を想定しないとイケない。検討いただいている案は何か。	吹田の場合、サーバは堂島データセンターにある。 堂島に津波が発生したら対応は十分ではない。 ガバメントクラウドを利用するのが一般的だが、コストが高いと、学習系にそこまでコストをかけるかバランスを考えないとイケない。
7	吹田市は教育予算かなり大きいので、財政的に査定が入ることが想定される。そうなると提案を変更せざるを得ないが、柔軟な対応ができるか。	学習系と校務系のネットワークを一本化することでコストカットできるのが大前提である。その上で柔軟に対応したい。
8	ネットワークを統合すると価格は下がるのか。	5 年前と比べると価格の高騰はあるが、吹田は特殊であり、SUN と SATSUKI のネットワークが並行になっているので、統合することで価格が半額ほどになる期待が大きい。

B 社

	質問（選定委員）	回答（事業者）
1	セキュリティ対策支援の提案について、いつ頃のタイミングでどのようにされるのか。	個人情報を扱っているのでセキュリティは確保したい。タブレットなど全体的なセキュリティの支援も行いたい。
2	P5 の「クラウド型校務支援システムの共同整備」という記述の「共同」とはどういう意味か。	文科省から校務支援システムを都道府県で共同調達する指針が出ている。大阪府としてどう判断するかによるが、コストカットできるか検討する。
3	場合によっては共同整備するということか。	そのとおり
4	校務系と学習系のネットワークを統合する前提か。統合のメリット・デメリット、統合しなかった場合のメリット・デメリットは何か。	統合しなかった場合、ネットワークのコストが二重にかかる。仮想で分けることが可能である。 デメリットはセキュリティ面である。提案している SASE 基盤では、インターネットを通るので抵抗感を持たれる可能性があるので、セキュアに持っていく方法を検討したい。
5	場合によっては統合しないこともあるということか。	そのとおり
6	P7 のスケジュールで、令和 8 年度当初から RFP を実施するとあるが、予算を今年度中に取りえないといけない。本市の予算要求のスケジュールだとタイトだが大丈夫か。	大丈夫である。 前倒しになる可能性もあり、ずれは許容範囲である。 他業務で何度も財政担当と協議を重ねてきたので、コミュニケーションも問題ない。財政担当との協議も支援したい。

7	PIIの業務遂行体制で、9名体制とあるが、実質的には2つのチームに分けるということだが、会議には出席できるのか。 連携して対応していただけるのか。	2つのチームで連携して対応する。 会議には同席する予定だが、議題によっては担当だけ参加する、リモートで参加する、など柔軟に対応したい。 課題感などをタイムリーに相談できるよう定例会議だけではなく随時回答も可能である。
8	令和8年3月に学習系ネットワークの保守契約が終了するが、統合する場合はどの時期に稼働させるのか。	契約状況によるが、できるだけ無駄のないように、インフラの整備を先に行い、校務系のアプリを後にするなど考えられる。 統合するタイミングについては、既存業者のスケジュールや課題感によっても変わる。
9	学習系ネットワークの保守契約を延長せざるを得ないという前提で統合を考えるということか。	そのとおり。
10	P5とP9の図については国がモデル提示しているイメージか。	そのとおり。
11	セキュリティポリシー改定への対応とあるが、国の方向性と合わせて、職員側の負担が軽減できるよう作業していただけるということか。	そのとおり。

以上